

成果指標

(計画本文 21 ページ)

1. 読書をしないう児童生徒の割合を減少させる

	現状値 R2年度	目標値 R7年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度	データの出展
小学6年生	27.6%	20.0%	29.1%	20.0%	R7意識・実態調査より(小中学生) 「あなたは本を読みますか」に対して、 「ほとんど読まない」と答えた割合
中学2年生	35.4%	25.0%	39.1%	25.0%	

2. 読書が嫌いな児童生徒の割合を減少させる

	現状値 R2年度	目標値 R7年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度	データの出展
小学6年生	22.0%	15.0%	27.4%	15.0%	R7意識・実態調査より(小中学生) 「あなたは本を読むことが好きですか」に対して、 「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と答えた割合
中学2年生	26.4%	20.0%	36.5%	20.0%	

取組の指標

(計画本文 48 ページ)

取組	指標	現状値 R2年度	目標値 R7年度	現状値 R7年度	目標値 R11年度	
家庭における 推進	家庭における読み聞かせの実施率	84.0%	86.0%	87.8%	90.0%	
	乳幼児期を対象とした事業や保護者への啓発実施回数	40回	60回	43回	60回	
学校等における 推進	学校図書館図書標準の達成校数	小100% 中60%	小100% 中70%	小100% 中100%	小 100% 中 100%	
	学校図書館の「学習センターとしての機能」及び 「情報センターとしての機能」の充実	学習C	34.4%	40.0%	46.9%	50.0%
		情報C	31.2%	35.0%	53.2%	55.0%
地域における 推進	市立図書館における児童書の蔵書冊数	102,253冊	107,000冊	101,077冊	107,000冊	
	市立図書館における児童書の図書展示開催数	38回	50回	63回	70回	
	市立図書館における親子(または保護者)を対象とした 読書活動推進事業の実施回数	93回	110回	126回	140回	
	市立図書館以外の公共施設において新たに子どもの 読書環境の整備・改善が行われた施設数	—	2か所	2か所	2か所	
	市立図書館以外の公共施設に子ども向けの本が 設置されていることの認知度	21.7%	30.0%	33.9%	40.0%	
理解の啓発・ 広報	「宇治市子ども読書の日」関連事業の実施数	74事業	80事業	63事業	80事業	

宇治市子どもの読書活動推進計画 (第三次推進計画) 第1回中間見直し 【概要版】

2026(令和8)年3月
宇治市教育委員会
〒611-8501 宇治市宇治琵琶 33 番地
電話: 0774-22-3141 (代表)



宇治市子どもの読書活動推進計画 第三次推進計画

—第1回中間見直し— 【概要版】



計画の基本的な考え方

すべての子どもが 自ら進んで読書に親しみ
生涯にわたる読書習慣を身に付ける

宇治市では、すべての子どもが、読書を通じて「ことばの力」を高め、豊かな感性や表現力を培い、生涯にわたる読書習慣形成の素地を身に付けることができるよう、本計画を策定しています。第三次推進計画は2022(令和4)年度から2033(令和15)年度までの12年間を計画の対象期間とし、4年間ごとに計画の中間見直しを行うこととしています。

この度、策定後に生じた社会情勢の変化に対応するとともに、次の中間見直し時期である2029(令和11)年度に向けた目標値を定めるため、計画の見直しを行いました。

計画本文の修正

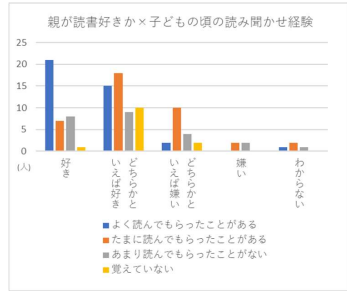
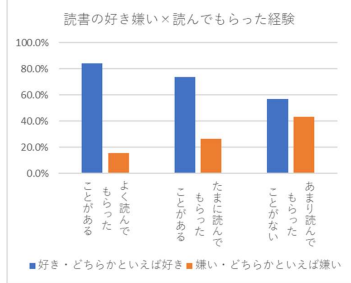
- 乳幼児健診等での読み聞かせの重要性の啓発**(25ページ・35ページ)
絵本の読み聞かせを妊娠中から開始し出産後も継続するため、記載内容を一部変更
- 学校図書館の情報化**(28~29ページ)
国・府の子ども読書計画の変更内容も踏まえ、1人1台端末の整備等に伴うICT機器の活用について記載を追加
- 絵本を題材とした給食メニューの提供**(29ページ)
月に1度、絵本にちなんだメニューを給食で提供し、絵本に親しむ機会を創出するとともに食育につなげる取組を実施していることを追記
- 図書館ボランティアとの連携**(38ページ)
ボランティア等と連携して実施する事業の内容について、記載内容を整理

アンケート結果のまとめ及び計画中期に向けた方向性

前回調査を実施した令和2年度からの子どもの読書活動状況の変化及び取組の成果と課題を明らかにして令和11年度までの目標値を定めるため、小中学校の児童・生徒や保護者、幼稚園・保育所の保護者、高校生等に対して、意識・実態調査を実施しました。

1. 読み聞かせの重要性

- 本を読んでもらった経験が多いほど、読書が好きなお子さんの割合が高い傾向
- 親自身が子どもの頃に読み聞かせをしてもらった経験があると、自分の子どもにも読み聞かせをする割合が高い傾向



計画中期に向けた方向性

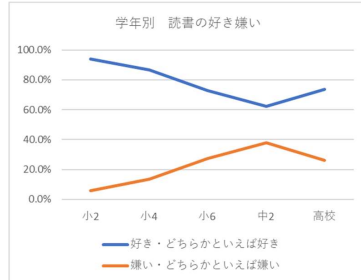
就学前児童の保護者を対象とした読み聞かせを促進する取組を充実・強化するとともに、読み聞かせの重要性を啓発する取組を進める。

具体的には・・・

乳幼児健診でのリーフレット配付、各市立図書館や地域での「おはなし会」等の開催 など

2. 読書の傾向

- ①学年と共に読書が「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答する割合が増えていく傾向



計画中期に向けた方向性

おすすめ本の紹介等を通じて、学校図書館や図書館で子どもが本を手取るきっかけづくりを進める。

具体的には・・・

学校等での「本のおたより」「図書室だより」等の発行
図書館での年齢別のおすすめ本リストの作成 など

- ②学年が低いほど家庭や周囲の影響を受けやすい傾向

計画中期に向けた方向性

家庭での読書環境の充実が子に影響を与えることから、家族みんなで読書に親しむ「家読（うちどく）」の大切さの啓発や、読み聞かせ等の取組の充実、また、親子で図書館に行く機会の創出などに努める。

具体的には・・・

幼稚園・保育所での絵本貸出、親子での市立図書館訪問などの取組
図書館での「おはなし会」や「テーマ図書展示」の実施 など

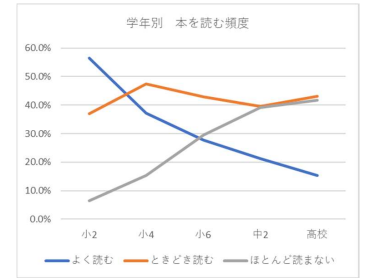
- ③学年が上がるにつれて、読書頻度・読書冊数・読書時間は減少傾向

計画中期に向けた方向性

将来的に再度読書に親しむ機会を創出するためにも、子どもの頃に読書習慣を身に付けられるよう、朝読書や読み聞かせ等の取組を継続する。

具体的には・・・

幼稚園・保育所での読み聞かせの実施
学校での朝読書や読み聞かせ等の取組の実施
各市立図書館や地域での「おはなし会」等の開催 など



- ④本を読む理由として、「調べものをするため」「勉強になるから」と回答した割合は学年と共に減少する傾向
1人1台タブレット端末が配置され、調べ学習に本を活用する機会が減少

計画中期に向けた方向性

電子書籍の周知を図るとともに利活用を促進することで、読書環境の充実に努める。

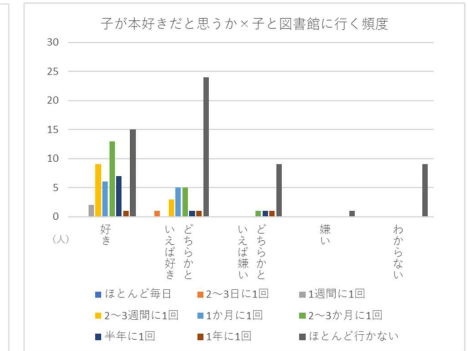
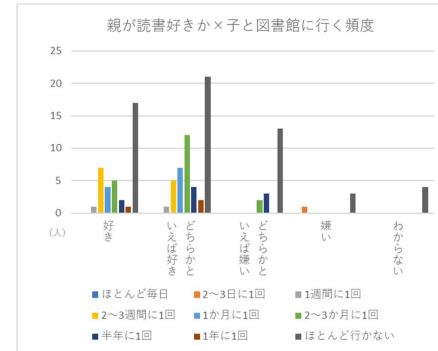
具体的には・・・

「宇治市電子図書館サービス」の実施、
児童書や青少年向け電子書籍の計画的収集
小学3年生以上の市立小中学生に電子図書館IDの付与 など



3. 公共施設の利用

- 親または子が読書好きだと図書館に行く割合は増えるが、本の好き・嫌いにかかわらず「ほとんど行かない」が多数を占める。



計画中期に向けた方向性

講座やイベント等の開催により魅力ある図書館・公共施設運営を進めるとともに、広報の強化に努める。

具体的には・・・

図書館での「おはなし会」や「テーマ図書展示」の実施
SNSを活用した広報の強化 など

